

大竹市公営企業の業務状況

3 予算及び事業の経営方針

(1) 平成19年度の予算の概要

① 業務の予定量

区 分	水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
給水戸数, 給水事業件数及び排水戸数	12,270 戸	7 ヶ所	11,125 戸
年 間 総 給 水 水 量	4,684,800 m ³	14,823,000 m ³	8,210,000 m ³
一 日 平 均 給 排 水 量	12,800 m ³	40,500 m ³	22,493 m ³
主 要 な 建 設 改 良 事 業	上水道拡張改良事業 206,800 千円	工業用水道改良事業 3,500 千円	公共下水道管渠布設 工事及び下水処理場 等設備改築更新工事 304,500 千円

② 収益的収入及び支出

区 分		水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
収 入	事業収益 (A)	594,603 千円	358,432 千円	912,033 千円
	営業収益	561,795 千円	358,219 千円	894,441 千円
	営業外収益	32,807 千円	212 千円	17,591 千円
	特別利益	1 千円	1 千円	1 千円
支 出	事業費 (B)	541,388 千円	556,721 千円	903,961 千円
	営業費用	490,236 千円	363,782 千円	705,448 千円
	営業外費用	49,151 千円	191,938 千円	196,511 千円
	特別損失	1,001 千円	1 千円	1,002 千円
	予備費	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
差引額 (A) - (B)		53,215 千円	△198,289 千円	8,072 千円

③ 資本的收入及び支出

(単位：千円)

区 分		水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
収 入	資本的收入 (A)	179,973 千円	616 千円	469,748 千円
	企業債	143,820 千円		238,800 千円
	補助金			173,500 千円
	負担金	36,142 千円	616 千円	57,283 千円
	固定資産売却代金	11 千円		
	水洗化貸付金回収金			165 千円
支 出	資本の支出 (B)	564,210 千円	320,296 千円	672,024 千円
	建設改良費	207,600 千円	3,500 千円	361,243 千円
	企業債償還金	55,610 千円	315,796 千円	307,944 千円
	他会計貸付金	300,000 千円		
	庁舎建設負担金			1,237 千円
	水洗化貸付金			600 千円
	予備費	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円
差引額 (A) - (B)		△384,237 千円	△319,680 千円	△202,276 千円

区 分	水 道 事 業	工業用水道事業	公共下水道事業
補てん額	384,237 千円	319,680 千円	202,276 千円
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	8,359 千円	167 千円	
過年度分損益勘定留保資金	145,142 千円		
当年度分損益勘定留保資金	156,290 千円	319,513 千円	202,276 千円
減債積立金	155,610 千円		
建設改良債	18,836 千円		

(2) 平成19年度事業の経営方針

平成18年度より水道局と下水道課を統合し上下水道局として発足しました。これに合わせ公共下水道事業の地方公営企業法全部適用を行い、公営企業会計へ移行しました。

水道事業につきましては、送配水施設の整備拡充、老朽配水管の改良を進めます。また給水人口の減少や、景気の低迷の影響及び節水意識の定着により、使用水量が年々減少しているなかで、安全で良質な水の安定供給を図りながら、経費の節減等による経営の健全化に努め、より効果的に利益を出すよう努めます。

工業用水道事業につきましても、より安定した水の供給確保を行い、本市の産業経済の活性化に寄与するとともに、経営の健全化に努めます。

本市の公共下水道事業は、下水道整備を昭和35年より工事に着手し昭和45年に供用開始と早い段階より事業展開を行ってきました。このことで、本市の公共下水道事業は建設段階から維持管理段階へ移行しており、今後は安定した事業経営を行うため経営状況の改善に努めてまいります。